

～水揚げ変動に左右されないホタテ商品の安定供給～
青森県漁業協同組合連合会（青森県平内町）

目詰まりの現状

青森県陸奥湾産のホタテガイは、平成22年の大量へい死など、自然環境の変化による水揚げ変動が大きくなっている。

一方、安心安全な国産水産物ニーズは高まっており、既存取引先からは、価格や数量について、安定した供給を求められている。

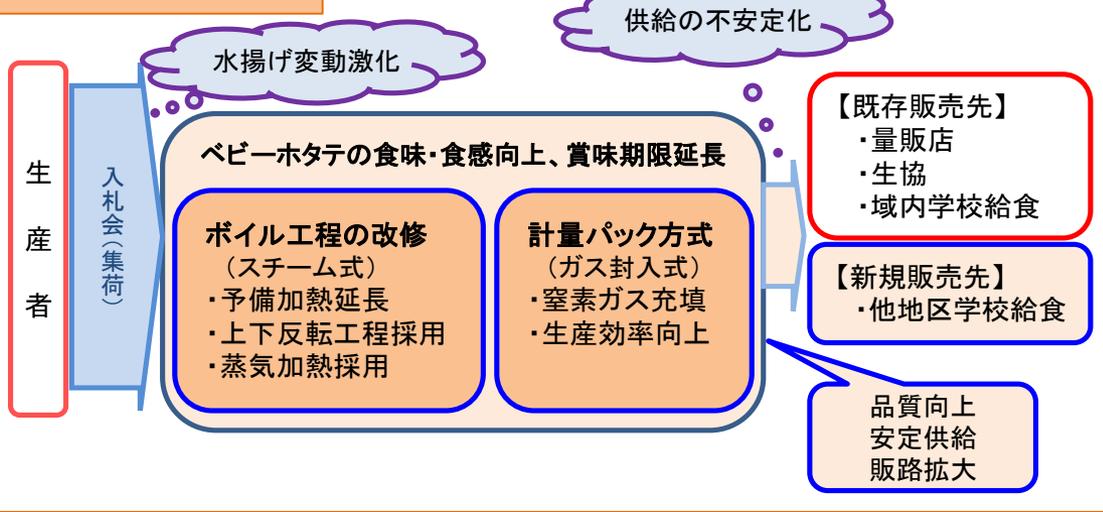
プロジェクトの概要

- 新型ボイルスチーマーを導入し、食味の向上したベビーホタテを生産する。
- ガス封入式コンピュータースケールの導入により、賞味期限の長期化を図る。
- 既存販売先のほか、県内外学校給食関係者へサンプル提供等を実施する。

取組による成果

- 取引先等による試食では、食味、食感において高い評価。
- 商品賞味期限延長が見込まれ、廃棄ロスを削減。
- 原貝処理量（加工品製造量）が向上。（1時間あたり8トン→10トン）
- 他地区学校給食など、販売エリアが拡大。
- 機器導入により品質が向上し、作業員の品質衛生管理意識が向上。

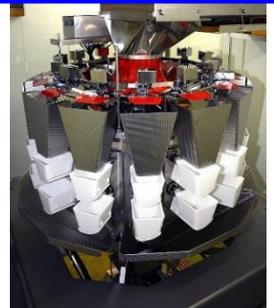
プロジェクトフロー



スチームボイル機器



窒素充填計量パック



ベビーホタテ

(平成26年12月現在)